

目 次

〈特別企画〉	
『形式・構造解析』に基づく解釈の実際	福永知子・石橋正浩・八尋華那雄・辻悟 1
〈原 著〉	
統合失調症患者のTATにおける人間表象	関山徹 23
青年期の自己信頼感と防衛に関する研究 ——ロールシャッハ法による接近	寺崎文香・高橋靖恵 37
〈事例研究〉	
言語障害を伴う痴呆症高齢者のロールシャッハ反応 ——思考-言語カテゴリーを用いて	有園陽子・谷向知 51
強迫性障害の一事例研究 ——図版任せの観点から	相澤直樹 62
解離性同一性障害者の症状推移とそのロールシャッハ反応 ——交代人格状態の変容を中心に	青木佐奈枝 74
〈資料〉	
片口法における反応領域の再検討 ——反応領域の再標準化へ向けた予備的研究	佐藤洋一・高瀬由嗣 89
〈大会講演〉	
ヘルマン・ロールシャッハの思想にならって	秋谷たつ子 108
〈情報〉	
Dr. Wagner を訪ねて ——ハンドテストの創始者から学んだこと	佐々木祐子 114
17th International Congress of Rorschach and Projective Methods 印象記	大矢寿美子 122
〈関連文献〉	
ロールシャッハ関連文献（2002年）	124
会務報告	128